

# あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

瑞雲殿  
常滑・青海  
誠意と真心であんしんのかけはし

## CSK葬祭

TEL 0120-33-5909  
TEL 0569-35-2785  
FAX 0569-35-2296

24時間体制完備

葬儀専用ホール

# 元気のでてくる“ことばたち”

120

## 村上信夫 (アナウンサー)



『横たわる君の顔に朝日が差して…』  
1979年の大ヒット曲『きみの朝』。  
歌っていたのは、岸田敏志さん。ありや、名前が違う？知らぬ間に、岸田さんは改名をしていたのだ。「智史」を「敏志」に改めた。

ONEDAY ONE  
21世紀を目前に控えた二〇〇〇年、何か注目を集めることをと、改名を思いついた。以前から、「智史」は書きづらく、しっくりこなかった。読み方は、そのままに漢字を変えてみた。

しかし、名前を知ってもらおうことが、どんなに大変なことか痛感した。8年経った今でも、同一人物と思われないことが多い。それだけ、以前の名前「岸田智史」のインパクトが強かったということだ。

日本武道館で開いた一九九一年の15周年記念コンサートを一つの区切りに、岸田さんは、歌手活動から遠ざかっていた。『渡る世間は鬼ばかり』などのドラマ、『ミス・サイゴン』などの舞台と、俳優としての活動に力を入れていた。

最近、再びコンサート活動を始めたのは、母の一言からだ。5年前に亡くなった母に、病床で「もう一度、歌っている姿が見たい」と言われた。

## エゴよりエゴ 〜歌手岸田敏志さん〜

「ONEDAY ONE」をスローガンに、「CO<sub>2</sub>削減のために出来ることを一日一つしよう」と、コンサートで呼びかけている。岸田さん自身も、車の運転を減らして、自転車や徒歩に切り替えた。暑い日は、窓を開けて、打ち水をしている。寒い日は、シャツを一枚多めに着るようになっている。不便とは思わない。得るものが多い。「日本

幼いころは、上の兄2人や友達と、山や川で、よく遊んだものだ。ピアノも兄と一緒に習ったが、音楽より体育が得意だった。中学では、野球部に所属。シヨートで一番を打っていた。そして、京都教育大学体育学科に入り、体育教師を目指していた。

偶然その1。中学卒業直前、宿題で作った曲が、優秀作になった。その曲が、合唱部員によって、全校生徒の前で披露された。偶然その2。大学に入って自分で歌を作り始めた。大学ノートに詩を書いて、コードを書き込んでいた。それを仲間の前で歌っていた。「3年生のとき、学生食堂で斜め向かいに座っていた女子学生が、僕の歌を口ずさんでいたのを聞いて、背筋に電流が走る衝撃を受けた。僕の歌を気に入って覚えてくれてくれた人がいる。見知らぬ人にもメッセージが伝わった。歌うって何て素晴らしいことなんだ！」

偶然その3。大学4年生の夏休み、友人と北海道旅行に行った。その帰り道、東京のいとこの家に立ち寄った。これが、歌手・岸田敏志誕生のすべての始まりになった。

いとこは、シンガーソングライターを目指していた。いとこの前で、自分の歌を披露して、録音に取った。いとこが、そのテープをレコード会社に持ち込んだ。岸田さんの歌声が、消し残りのテープに入っていた。その録音を、酒井政利プロデューサーが、偶然、耳にする。酒井さんといえは、山口百恵や郷ひろみなどを手掛けた腕利きのプロデューサーだ。酒井さんから、しきりに勧誘を受け、上京してデビューを果たすことになる。

歌で環境保護を訴えようと思っている。原点は故郷にある。親から受け継いだものを守り続けて、次世代へつなげていきたい。故郷のあたりまえの日常がいかに大切なことかと思う。

岸田さんの最近のコンサートのタイトルは「エゴとエゴ」。濁音のあるなしで、ずいぶん違う。便利は悪くないけど、追求しすぎるとエゴになる。エゴを叫びながら、エゴをやめられない。

「ONEDAY ONE」をスローガンに、「CO<sub>2</sub>削減のために出来ることを一日一つしよう」と、コンサートで呼びかけている。岸田さん自身も、車の運転を減らして、自転車や徒歩に切り替えた。暑い日は、窓を開けて、打ち水をしている。寒い日は、シャツを一枚多めに着るようになっている。不便とは思わない。得るものが多い。「日本

幼いころは、上の兄2人や友達と、山や川で、よく遊んだものだ。ピアノも兄と一緒に習ったが、音楽より体育が得意だった。中学では、野球部に所属。シヨートで一番を打っていた。そして、京都教育大学体育学科に入り、体育教師を目指していた。

偶然その1。中学卒業直前、宿題で作った曲が、優秀作になった。その曲が、合唱部員によって、全校生徒の前で披露された。偶然その2。大学に入って自分で歌を作り始めた。大学ノートに詩を書いて、コードを書き込んでいた。それを仲間の前で歌っていた。「3年生のとき、学生食堂で斜め向かいに座っていた女子学生が、僕の歌を口ずさんでいたのを聞いて、背筋に電流が走る衝撃を受けた。僕の歌を気に入って覚えてくれてくれた人がいる。見知らぬ人にもメッセージが伝わった。歌うって何て素晴らしいことなんだ！」

いとこは、シンガーソングライターを目指していた。いとこの前で、自分の歌を披露して、録音に取った。いとこが、そのテープをレコード会社に持ち込んだ。岸田さんの歌声が、消し残りのテープに入っていた。その録音を、酒井政利プロデューサーが、偶然、耳にする。酒井さんといえは、山口百恵や郷ひろみなどを手掛けた腕利きのプロデューサーだ。酒井さんから、しきりに勧誘を受け、上京してデビューを果たすことになる。



俳画/イネ・セイミ

■イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

■俳画教室開講中

ところ 常滑屋  
とき 月一回 第一金曜日 午後一時  
会費 一回二、五〇〇円(四ヶ月分前納制)  
問合せ ☎〇五六三(三三)〇五八三

堤江実のボエム  
コンサートを  
CDでお届けします。

言葉に癒される  
CD 堤江実のボエムガーデン  
やさしい風がふいています。  
木々の梢は光っています。  
あなたの心がやすらぎで満たされますように。  
あなたの心に喜びがあふれますように。

詩と朗読 堤江実  
フルート イネ・セイミ  
ピアノ はちまん正人  
構成 佐藤よりこ  
Disc1. 光のように  
Disc2. 花のように  
2003年10月22日発売  
CD 2枚組3,150円(税込)

村上信夫  
「ありがたう」  
「言えなかった」

世界でたった一人の大切な人へ

好評発売中

# 慈愛の人・良寛(40) 杉本武之

## 良寛巡り(円通寺)

今年の夏は暑かったです。もうすぐ百歳になる老母のためと言いつつ、本当は自分が楽をしたために、連日長時間クーラーをつけていました。電気料金が心配です。

この暑さの中、私は2回、良寛を巡る旅をしてきました。

7月に富山へ「良寛展」を見に行き、8月に倉敷の円通寺を訪れました。

「富山県水墨美術館」という所で、良寛生誕250年記念の「良寛展」が7月27日まで開かれていると知って、あわててバスの座席を予約し、7月21日(海の日)に名古屋から高速バスで富山へと向かいました。高速バスを使うと所要時間は片道3時間半、料金は往復7千円ほどで、時間的にも金銭的にも電車の比ではありません。座席は指定ですし、とても快適な旅

でした。JRには悪いけれど、富山へはバス利用に限りまく。びつくり。この修行証明書である「印可の偈」を、良寛は終生肌身離さず持ち歩いていました。いかに師に対する感謝の念が深かったかが分かります。

会場には、主に、最晩年を過ごした島崎の木村家に所蔵されている作品が展示されていました。とにかく作品数が多かった。本物に直面できる喜びよりも、これだけの量の作品をいかに見ていたらどんなに時間があったても足りないという焦りの気持ちの方が強くなりました。この漢詩はじっくり見たい。あの歌は一字一字読んでみたい。しかし、時間がない。ああ、どうしよう。目移りばかりして、どれもじっくり見られませんでした。

さて、最初の展示室に、良寛が師の国仙和尚から授かった良や、愚の如く道うたた寛しで始まる有名な「印可の偈」が掛けてありました。良寛関係の本ならたいいていその写真が載っている私はずもつと小さいものだけ



円通寺にて

良寛は、12年間、備中玉島の円通寺で国仙和尚の適切な指導を受けました。寺にあつた道元の『正法眼蔵』の写本を読み、真の仏道に目覚め、師の死後、さらに悟道を極めるために寺を離れ諸國を行脚します。円通寺での長

い修行を通して、越後生まれの一人の未熟な僧が、良寛という稀に見る名僧になっていったのです。その円通寺へ、8月17日(日)に行ってきました。今度の良寛巡りには息子も同行しました。東京で気象関係の

本線に乗って新倉敷へ。新倉敷駅からはバスで行くつもりだったけれど、本数も少ないし、暑さも厳しくなってきたので、駅前まで待っていったタクシーに乗ることにしました。タクシーの運転手が「お客さんたちは、円通寺へ観光で行くのですか、お墓参りに行くのですか」と聞きま

いい見当がつかせません。しかも、30分の時間しかないのです。寺の境内には私たち以外誰もいませんでした。僧侶の姿も見えず、本堂や良寛堂などの建物の中にも入れないし、宝物館も開いてないよう。で、なんとなく物足りな

「石のよろしさも良寛さまの想ひ出。円通寺は巨岩がごろごろしているお寺です。駐車場まで待っていたタクシーに乗って帰りました。玉島の町には活気が見られませんでした。運転手が「街の中心も、半分ぐらいが店を閉じているんですよ」と言いました。古い商店街は日本中どこも同じなんだと思いま

の一日を見てみましょう。3:00 振鈴起床 (15分間で蒲団を片付け、便所洗面を済ませます) 3:15 暁天坐禅 (僧堂での坐禅) 4:30 朝課誦経 (本堂での朝の誦経) 6:00 朝粥行鉢 (僧堂で朝食。粥と漬物と焼き塩) 7:00 早晨坐禅 (2回目の坐禅) 8:00 日天作務 (堂内外の清掃) 9:00 早参法益 (衆寮で仏書の講義や師の提唱を聞く) 11:00 日中誦経 (本堂での昼の誦経) 12:00 午齋行鉢 (僧堂で昼食。麦飯、味噌汁、煮しめ、漬物) 13:00 齋罷看読 (衆寮で講義を聞いたり自習をする) 16:00 晩参坐禅 (僧堂での3回目の坐禅) 17:00 晩課誦経 (本堂での夜の誦経) 18:00 薬石喫湯 (夕食ではないが粥を食す) 19:00 夜坐 (僧堂で坐禅。長時間の坐

禪なので、時々堂内を一周する) 21:00 開杖就寝 (一日を反省しながら法衣を脱ぐ。蒲団を取り出し、二つに折り、中にはさまって寝る。体の右を下にして寝るのが作法である)

驚くほど過密なスケジュールです。さらに、夏と冬それぞれ3か月間外出しないで一室に籠って修行する「安居」など、数多くの年中行事も厳格に執り行われていたのです。僧侶の修行が半端なものでないことが分かります。

なお、国仙和尚は円通寺で30人の弟子をとりました。良寛は29番目の弟子でした。



〈杉本武之プロフィール〉 1939年、碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。〈趣味〉読書と競馬

「この指とまれ(151) 氏原朝信」

「ジャンケンであそぼ」を三回にわたって連載したが、本誌の平成九年十月号から十一月号で「この指とまれ」ではNo.19からNo.21です。内容は、「一回目」「じゃんけんの由来」と「ジャンケン唄」、二回目「足ジャンケン」「ジェスチャージャンケン」、三回目「ジャンケン遊びいろいろ」でした。

今回は、「じゃんけんぼんぼん、あいこでしょ」というかけ声、そして、常滑ではその次のかけ声が「じつとんべ」というのだけど、どういう意味と尋ねられたので、そのことについて調べてみました。

「あいこでしょ」の次のかけ声を聞いたところ、「じつとんべ」「しゃかりこしゃ」「そうれんしよ」とか返ってきました。「あいこでしょ、しよ、しよ」

良寛は、12年間、備中玉島の円通寺で国仙和尚の適切な指導を受けました。寺にあつた道元の『正法眼蔵』の写本を読み、真の仏道に目覚め、師の死後、さらに悟道を極めるために寺を離れ諸國を行脚します。円通寺での長

い修行を通して、越後生まれの一人の未熟な僧が、良寛という稀に見る名僧になっていったのです。その円通寺へ、8月17日(日)に行ってきました。今度の良寛巡りには息子も同行しました。東京で気象関係の

本線に乗って新倉敷へ。新倉敷駅からはバスで行くつもりだったけれど、本数も少ないし、暑さも厳しくなってきたので、駅前まで待っていったタクシーに乗ることにしました。タクシーの運転手が「お客さんたちは、円通寺へ観光で行くのですか、お墓参りに行くのですか」と聞きま

いい見当がつかせません。しかも、30分の時間しかないのです。寺の境内には私たち以外誰もいませんでした。僧侶の姿も見えず、本堂や良寛堂などの建物の中にも入れないし、宝物館も開いてないよう。で、なんとなく物足りな

「石のよろしさも良寛さまの想ひ出。円通寺は巨岩がごろごろしているお寺です。駐車場まで待っていたタクシーに乗って帰りました。玉島の町には活気が見られませんでした。運転手が「街の中心も、半分ぐらいが店を閉じているんですよ」と言いました。古い商店街は日本中どこも同じなんだと思いま

の一日を見てみましょう。3:00 振鈴起床 (15分間で蒲団を片付け、便所洗面を済ませます) 3:15 暁天坐禅 (僧堂での坐禅) 4:30 朝課誦経 (本堂での朝の誦経) 6:00 朝粥行鉢 (僧堂で朝食。粥と漬物と焼き塩) 7:00 早晨坐禅 (2回目の坐禅) 8:00 日天作務 (堂内外の清掃) 9:00 早参法益 (衆寮で仏書の講義や師の提唱を聞く) 11:00 日中誦経 (本堂での昼の誦経) 12:00 午齋行鉢 (僧堂で昼食。麦飯、味噌汁、煮しめ、漬物) 13:00 齋罷看読 (衆寮で講義を聞いたり自習をする) 16:00 晩参坐禅 (僧堂での3回目の坐禅) 17:00 晩課誦経 (本堂での夜の誦経) 18:00 薬石喫湯 (夕食ではないが粥を食す) 19:00 夜坐 (僧堂で坐禅。長時間の坐

禪なので、時々堂内を一周する) 21:00 開杖就寝 (一日を反省しながら法衣を脱ぐ。蒲団を取り出し、二つに折り、中にはさまって寝る。体の右を下にして寝るのが作法である)

「この指とまれ(151) 氏原朝信」

「ジャンケンであそぼ」を三回にわたって連載したが、本誌の平成九年十月号から十一月号で「この指とまれ」ではNo.19からNo.21です。内容は、「一回目」「じゃんけんの由来」と「ジャンケン唄」、二回目「足ジャンケン」「ジェスチャージャンケン」、三回目「ジャンケン遊びいろいろ」でした。

今回は、「じゃんけんぼんぼん、あいこでしょ」というかけ声、そして、常滑ではその次のかけ声が「じつとんべ」というのだけど、どういう意味と尋ねられたので、そのことについて調べてみました。

「あいこでしょ」の次のかけ声を聞いたところ、「じつとんべ」「しゃかりこしゃ」「そうれんしよ」とか返ってきました。「あいこでしょ、しよ、しよ」

良寛は、12年間、備中玉島の円通寺で国仙和尚の適切な指導を受けました。寺にあつた道元の『正法眼蔵』の写本を読み、真の仏道に目覚め、師の死後、さらに悟道を極めるために寺を離れ諸國を行脚します。円通寺での長

い修行を通して、越後生まれの一人の未熟な僧が、良寛という稀に見る名僧になっていったのです。その円通寺へ、8月17日(日)に行ってきました。今度の良寛巡りには息子も同行しました。東京で気象関係の

本線に乗って新倉敷へ。新倉敷駅からはバスで行くつもりだったけれど、本数も少ないし、暑さも厳しくなってきたので、駅前まで待っていったタクシーに乗ることにしました。タクシーの運転手が「お客さんたちは、円通寺へ観光で行くのですか、お墓参りに行くのですか」と聞きま

いい見当がつかせません。しかも、30分の時間しかないのです。寺の境内には私たち以外誰もいませんでした。僧侶の姿も見えず、本堂や良寛堂などの建物の中にも入れないし、宝物館も開いてないよう。で、なんとなく物足りな

「石のよろしさも良寛さまの想ひ出。円通寺は巨岩がごろごろしているお寺です。駐車場まで待っていたタクシーに乗って帰りました。玉島の町には活気が見られませんでした。運転手が「街の中心も、半分ぐらいが店を閉じているんですよ」と言いました。古い商店街は日本中どこも同じなんだと思いま

の一日を見てみましょう。3:00 振鈴起床 (15分間で蒲団を片付け、便所洗面を済ませます) 3:15 暁天坐禅 (僧堂での坐禅) 4:30 朝課誦経 (本堂での朝の誦経) 6:00 朝粥行鉢 (僧堂で朝食。粥と漬物と焼き塩) 7:00 早晨坐禅 (2回目の坐禅) 8:00 日天作務 (堂内外の清掃) 9:00 早参法益 (衆寮で仏書の講義や師の提唱を聞く) 11:00 日中誦経 (本堂での昼の誦経) 12:00 午齋行鉢 (僧堂で昼食。麦飯、味噌汁、煮しめ、漬物) 13:00 齋罷看読 (衆寮で講義を聞いたり自習をする) 16:00 晩参坐禅 (僧堂での3回目の坐禅) 17:00 晩課誦経 (本堂での夜の誦経) 18:00 薬石喫湯 (夕食ではないが粥を食す) 19:00 夜坐 (僧堂で坐禅。長時間の坐

誠意をこめて安心のお手払い 年中無休・24時間体制

**(有)大阪屋葬祭**

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL<0569>35-4949 (代表) FAX 35-4911

協賛事業 男性料理教室 十一月二十一日(土)午後九時半、正午 講師 常滑市食生活改善協議会 対象 市内在住・在勤の男性 定員 二十四名 材料費 五百円(一回につき一回のみの参加も可) 持ち物 エプロン、三角巾、ふきん、筆記用具 申込み期間 一日(水)十五日(水) 問合せ 常滑市食生活改善協議会代表 加藤陽子 ☎42-2378 FAX 42-2378

◎南海公民館

▼自主事業 陶芸教室 八月(水) 内容 たたら器作りを学ぶ 対象 一般 受講料 無料 材料費 千八百円 募集期間 四日(土)締切 十五日(水) 内容 食の安全安心、各自で作る菓子パン作りを学ぶ 対象 一般 受講料 千五百円 材料費 三千円 募集期間 四日(土)締切

▼シルバースクール 二十二日(土) 内容 豊かになて生涯現役をめざすことができるよう学習する 対象 六十歳以上

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

# 愛知県立大学名誉教授

# 山田正敏

## 『バリ島行ったり来たり』(10)



三年間かけたウブドゥ・プリアタン村の小・中学生の学校生活を中心にした調査も、これまで報告したように、「人間らしい子ども像」、子どもを人間に育てるための「教師像・学校像」の片鱗かもしれないが、それぞれの「像の中核」に迫るのに、充分な手掛かりが得られた、と自己満足して、一応の締めくくりをしました。

つまり、「当り前のことを、当り前として、再確認できた」ということです。「当り前のこと」が、言葉や活字に止まるのではなく、「実像」として体感でき、イメージ豊かに理解できたということです。これが現地調査の「醍醐味」というものであり、「学ぶ」ということの「醍醐味」でもあると、私はかねてより思っていました。

「三年間かけたウブドゥ・プリアタン調査」とはいえ、在職中であり、附属幼稚園の園長を兼任したこともあり、夏休みの、一週間から十日ほどの日程で、現地調査をするのが精一杯。三年間で計一ヶ月余り、子どもの学校生活を中心にアンケートと観察調査をするのが精一杯。

ゆったりとしたバリ島の村人の生活の中で、小学校八校・中学校二校にアンケートを、ガイド兼通訳のKさんと手わけして、配布・回収に歩き廻るのが主な日課でした。「日本の大学の先生が、暑い日中に、汗一杯で、あちこちの学校を

廻ってみえる。お体は、大丈夫ですか」と、村の人たちが心配してみえる」とホーム・ステイ先の妻の友人が語ってくれた由。後々妻から聞かされた話です。

西側にずれたこの街道筋は、バリ島随一の稲作中心の農業県・タバナン。ゆるい坂道を北上するにつれ、テレビやガイドブックで見なれた棚田の緑と街路樹の花々。道路の簡易舗装も轍で擦り減り、二本の凹みになっている。そこを雨が流れたのだろう、溝のように掘れているガタガタ道。行き交う車とてなく、牛や豚を引く村人、時には、細くさいた布を縛った竹竿で、アヒルの群を追いたて、ゆく老人に会うくらい。バリの典型的な農村をはじめ見る思い。

島の地形・自然環境を知るための常道として、全島地図・詳しい分県地図を入手しようにも、観光地中心のガイド略地図は種々あるもの、島民の住む村や町の地図は九〇年代には容易には見つからない。島民は多分、自分の住む地域に根ざして生活し、そんなに広い世間の地図などあまり必要としていなかったからだろう。

九〇年代に入ると、日本人観光客の増加と共に、日本人学者や民族学者執筆の単行本もガイドブックも出版されはじめ、バリ島の全容が明らかになってきた。それらによると島の東西は一四五キロ、南北八〇キロで、面積はほぼ四国の四分の一。島内は車で、一〇時間も走ればぐるり一周できる。島の中央を二・三千米の活火山が威容を見せる—ということである。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

### 《遠出して、バリ島を知る》

この間、ウブドゥ地域から遠出したのは一回。妻からの提案で、その後学校調査で追加した、島中央部の高峰・バトゥカウ山麓にある古来の伝統的農山村、ワンガヤ村の小学校調査である。この調査は、連絡不十分で不完全に終わったものの、著名な観光地区より一本

私の体感からすれば、涼しくてすごく快適というのに。島の南部・サヌールの海辺にある七十年来の西歐人向けのリゾート・ホテルで働き、暑さの中で育った彼の体には、耐え切れなかったのだろう。あらかじめ聞いておいたこの地の標高は、七〇〇米余り。ちなみに、ウブドゥは二〇〇米弱。土地は標高により気温が変るとは、頭では知っていたが、こんなに変わるとは—。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

この間、ウブドゥ地域から遠出したのは一回。妻からの提案で、その後学校調査で追加した、島中央部の高峰・バトゥカウ山麓にある古来の伝統的農山村、ワンガヤ村の小学校調査である。この調査は、連絡不十分で不完全に終わったものの、著名な観光地区より一本

私の体感からすれば、涼しくてすごく快適というのに。島の南部・サヌールの海辺にある七十年来の西歐人向けのリゾート・ホテルで働き、暑さの中で育った彼の体には、耐え切れなかったのだろう。あらかじめ聞いておいたこの地の標高は、七〇〇米余り。ちなみに、ウブドゥは二〇〇米弱。土地は標高により気温が変るとは、頭では知っていたが、こんなに変わるとは—。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。

私が、日本並に詳細・正確な『バリ島道路地図本』を、妻によって入手したのは、06年。今世紀に入ってからである。掲載した「観光バリマップ」は、今年のガルーダ機内誌に掲載されたもの。標高を中心に紹介します。



### 《地図で、バリ島を知る》

○アグン山(二五六七米) ○ブサキ寺院(バリ・ヒンズー教最高神を祀る) ○バトゥカウ山(二二七一米) ○プラタ(島民避暑地・一三〇一米) ○ウブドゥ・プリアタン村(二〇八〇一米)

○観光地は、タナロット寺院より北側に線を引き、その東側の海辺と内陸に集中。興味があれば、地図に標高を記入し、立体化してみるのも、一興かもしれません。

ほりお教授の  
体験的源氏物語論

## 華麗で孤独な姫君たち

愛知淑徳大学教授 堀尾幸平



## 源氏物語の感動

平安時代、紫式部によって書かれた源氏物語が今年で千年目。「源氏物語千年紀」と言われ全国各地で研究会やイベント、お祭りまで盛んである。大いに結構、よるこばしい限りである。「源氏物語」の書名だけは日本人ならほとんどの人が知ってはいるが、果たしてどれだけの人が、実際に読んでいるだろうか。

文章は平安時代の貴族階級の日常語で書かれていて、表現自体もむずかしい。いづれの御時にか。女御・更衣あまたさぶらひ給ひけるなかに、いとやむことなき際にはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。

高校の教科書にも出ている有名な冒頭の文章で、なつかしいが、正直にいつて、やはりむずかしい。

だが、しんぼうして読みすすめていくと少しずつ解るようになり、これはおもしろい、ということになる。やがて、文章にも物語にも慣れて、ドキドキ共感、胸ときめく感動が味わえる。これは、人生の中で、そうたやすく得られるものではない。だが正直にいつて多少の努力が必要である。

「源氏物語」を読まなくても毎日を生きてはいるが、読むことによって、その人の人生や愛や生活が一層輝き出すにちがいない。

私は自分の人生で「源氏物語」と切っても切れない縁を頂いたことについて感謝している。告白すると、この四十年間に三度も紫式部女史に逢った夢を見た。

現職の大学の文学部の学生はもとより、東海古典に親しむ会、西尾女性文学研究会では共に今年講読三十周年を迎えた。それに名古屋、東海市、半田、常滑、豊田、岡崎、

豊橋、岩倉等々、各市教育委員会の主催の講演や講座をそれぞれ何百回もさせて頂いた。

受講、聴講の方の八割は女性で、紫式部という女性を書いた物語を現代の美しい女性の方々と一緒に読むことの喜びは格別で至福の日々であった。

読みはじめは少しむずかしいが、読みすすめていくにつれて物語の中に没頭し、共感し、涙を流し、時には反発しながらも感動し、やがて「源氏物語」が自分たちのものになる。そして人生や愛について真剣に考えながら共に成長していく。「源氏物語」は本当に素晴らしいものである。

## 源氏物語千年紀

今年が「源氏物語千年紀」であること、根拠は「紫式部日記」の寛弘五(一〇〇八)年十一月一日の記事。紫式部三六歳(推定)。若宮の御五十日は霜月のついたちの日。左衛門の督(注・藤原公任)「あなかしこ。このわたりにわかむらさきやさぶらふ」とうかがひたまふ。

つまり藤原公任が、紫式部のことを「源氏物語」の主人公「わかむらさき」と呼んで捜しに来ている。この文章から、この頃、宮内内で「源氏物語」は広く知られ読まれていたと推測できる。この日から数えて千年紀。十一月一日なのである。

以来、多くの人に読み継がれてきた「源氏物語」は「古典文学の最高峰」「国民文学」とまで言われている。ちなみに京都では十一月一日を今後、「古典の日」と宣言されるようだが、結構なことで大賛同である。

## 華麗な姫君たち

「源氏物語」五十四帖は実に七十余年にわたる大長編小説。登場人物もほぼ四百人。

主要人物だけでも三十余人にのぼる。そこには、さまざまな姫君たちが登場する。華麗、可憐、悲哀、優美、理知的な女性たちが、美しく、また哀しく描かれる。「源氏



国宝 源氏物語 柏木(徳川美術館蔵)

物語を読むことは、そういう姫君たちと交流し、共感し、時には反発、同情しながら「物のあはれ」(本居宣長)を感得、共有することである。

時間をかけて姫君たちとじっくり交流したいのであるが、今回は紙面の都合から特に私の好きな姫君四人にご登場頂く。

## 若紫

「源氏物語」は一名「紫のゆかりの物語」と呼ばれるように「若紫」は、光源氏と並ぶ主人公の姫君である。十歳の時、北山鞍馬山)で光源氏に見出され、源氏に理想の女

性として教育されて結婚。源氏のおき伴侶として誰にも羨ましがられる幸せな一生を送る。源氏の愛をいつも自分のものにしたのだが、すべて幸せであったわけではない。明石の上や源氏の三番目の妻・女三の宮への嫉妬や寂寥、憂愁などで苦悩の多い日々だった。

だが、紫の上の最大の不幸は、源氏からの愛ですら受身であって自分からの主体的な愛ではなかったことにある。出会いからそうだった。源氏に北山で見初められたのも若紫その人ではなく、思い焦がれていた藤壺(父帝の妻。継母。後、不倫で冷泉帝を生む)に面影が似ていたからだだった。

権門、左大臣家で特別に可愛がられて育った深窓の姫君。今をときめく左大臣家は源氏を極めて丁寧に後援しつつける。だが源氏は葵の上と燃えることができない。葵の上は権門の女君らしく端正で、教養もあるが、源氏は「冷たく取りすました麗人」と感じる。夫婦の性格も行動もちぐはぐで、うまくいかない。つまり相性が決定的に悪いのである。

藤壺 帝は源氏の生母・更衣の亡き後、いつまでも忘れることができなかった。そこで更衣とそっくりな藤壺を入内させた。五歳年上の源氏の継母である。源氏は生母恋しさから美しい藤壺をかい間見て、「継母」でなく「恋人」として、以後、狂おしいまでに藤壺を求めつつける。男性にとつて恋愛の究極は母への思慕。母性回帰である。

## 桐壺更衣

だが葵の上が亡くなる寸前に二人はおたがいの愛をしつかりと確認する。やっと思いがひとつになった時、二人に永遠の別れがやってくる。長年源氏の愛人だった六条の御息所の生霊に憑かれて息絶える。痛ましく悲しい限りである。

やがて源氏は藤壺と契つて子ども(後の冷泉帝)が生まれる。以後、藤壺は罪の意識と良心の呵責から入道として仏門に入ってしまった。そして源氏の一途な愛を拒絶する。拒まれるほど彼の思いは一層熱く激しく燃えさかる。それが以後の源氏の激しい女性遍歴へとかりたてていく。

## 姫君たちの人生と愛

源氏の生みの母。姫君というには適当でないかも知れないが、帝に熱愛された女性であるから、ここに入れておきたい。

「源氏物語」が書かれて千年……。多くの人々によってさまざまに読み継がれて来たわけであるが、作者・紫式部は何を描きたかったたのであろうか。

源氏の子・夕霧は、継母にあたる紫の上を生産に二回(野分の朝、死に顔かい間見だが、この世で最高に美しい女性として印象づけられた。

四十三歳、「御法」の巻で亡くなるが、完璧、理想的、幸福な紫の上だったが、心の中は孤独と悲哀が哀しく流れていた。

愛というものは、一方的に「愛される」イブセン「人形の家」のノラではなく、主体的に「愛する」面も必要不可欠なのである。

## 葵の上

源氏が十二歳で元服した夜、結婚した四歳年長の第一正妻。

こうい帝との激しい愛によって、源氏を生んだのだが、母親としての立場から子どもを育てることができなかったことは哀れで痛ましく、孤独な姫君であった。更衣は故按捺大納言の娘で、父の遺志で、何の後見もなく入内したが、その母親の娘更衣にかける愛情と苦勞と悲しみは大変なものであった。文章は多くはないが、その母性愛を見落としてはならない。

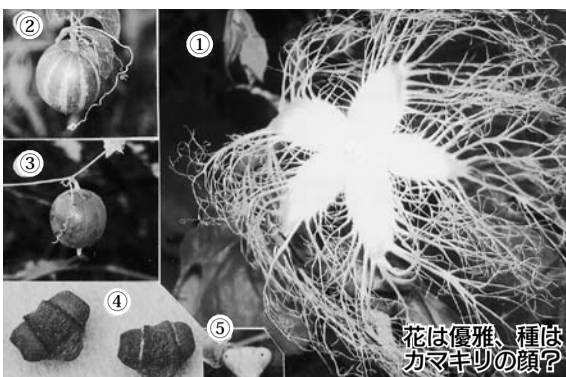
ここで紹介した姫君をはじめ多くの女性たちは、みんな華麗で美しい。だが内面は決して幸せでも満ちたりたものでもなく孤独そのものであったといえる。

いま「源氏物語」を読むということは、そういう人生、愛などを考え、自分たちのものとして創造して生きていくことなのである。(愛知淑徳大学文学部教授)

知多の動植物雑記(二四一)

原 穰

白い五弁の花びらの先が... 夏の終わりに、丘陵地を巡れば、林縁にからまるつたにぶら下がる緑色の白い縦じまの入った楕円形の実を



花は優雅の種は羊の顔 花は優雅の種は羊の顔

この緑色の実も秋が深まれば、白い縦じまは消えて赤い実になる(写真③) 花の華麗さ、優雅なこと

その市町まで車に乗って夜出掛けるのは... 御老体には無理。ところが、この夏、同じ町内に住む粗山正明氏から「カラスウリ咲いたゾー」のTel. 粗山氏とは、彼が中学時代からのお知り合い。

彼の自宅南面は、自家の畑地。周囲は四季折々の野草の花が美しく、写真撮りによく訪れていた。そこで偶然目にしたカラスウリのつるに「花が見たい」と彼に、前記のTelをもらう。

「Oh! サンキュー。八時頃行ってみよう。八時頃行くからナ」と、食事もそこそこに出掛ければ、生い茂るつるの各所に白く優雅な花が咲いている。

早速カメラを出してパチパチ。粗山氏も出て来て「この花がエエゾ。こっちの実が緑が濃いし、白いすじもはつきりしてると」と得意の武豊弁で先導を。

撮り終えた後は、熟した実の種はカマキリの頭写真⑤)みたいな面白い形写真④)など雑談、雑談。

その市町まで車に乗って夜出掛けるのは... 御老体には無理。ところが、この夏、同じ町内に住む粗山正明氏から「カラスウリ咲いたゾー」のTel. 粗山氏とは、彼が中学時代からのお知り合い。

彼の自宅南面は、自家の畑地。周囲は四季折々の野草の花が美しく、写真撮りによく訪れていた。そこで偶然目にしたカラスウリのつるに「花が見たい」と彼に、前記のTelをもらう。

「Oh! サンキュー。八時頃行ってみよう。八時頃行くからナ」と、食事もそこそこに出掛ければ、生い茂るつるの各所に白く優雅な花が咲いている。

早速カメラを出してパチパチ。粗山氏も出て来て「この花がエエゾ。こっちの実が緑が濃いし、白いすじもはつきりしてると」と得意の武豊弁で先導を。

撮り終えた後は、熟した実の種はカマキリの頭写真⑤)みたいな面白い形写真④)など雑談、雑談。

町の考古学

縄文時代の終り(百三二) 奥川弘成

遺跡

南知多町篠島の神明社貝塚で最初に発見された貝塚は真っ白に砕けた貝の層で記されています。貝が粉末状に破砕され、かつ圧縮されて、真っ白い石灰の層を思わせるような破砕貝層が二十センチほどの厚さで認められ、以下には厚く純貝層が続いていた。破砕貝層から後期後葉末葉の凹線文系土器と半割竹管文系土器とが出土し、おおよそ縄文時代後期と晩期の境に食べた貝が細かく砕かれた貝塚でした。

この貝塚の貝は、大サリヤ、岩場につく小形巻貝のレイシなど殻の厚い貝で構成されています。貝は凹形に弧を描くように身を守る殻をもち、押しつぶされる力には強くできています。これを潰



破砕圧縮貝層から出土した土器と鹿角

武豊町富貴にあるウスガイト遺跡では、室町時代の屋敷と屋敷の間にあつた平坦地の一面に砕けた貝が薄く堆積してしま

この二つの遺跡の薄い貝層の様子は、かつて未舗装の道が多かった頃ぬかるんだ道にまかれた貝を思い起こさせました。貝の上を人が歩いて土と混ざり合い、硬い道になっていきました。

貝の主成分は石灰分です。イシバイと呼んだ石灰は、「たつき」に用いられました。古い農家の戸をくぐると土間の床が硬くしまつて、コンクリートのようにテカテカに光つていたことを思い出します。「たつき」は砂利や赤土、イシバイに二ガリ塩を混ぜ合わせて、たいて固めたものです。石灰質は知多半島では産出しません。これに代用できるのは貝です。

知多市の大草城跡で土塁の発掘調査がありました。高さ五メートルもある土塁の基礎は硬く縮まった砂の層となっていました。この層は鉄も跳ね返し、重機で削つても歯が立ちませんでした。砂の層には細かな貝が混入していました。これは、室町時代のタタキではないだろうかと、調査担当者の山下勝年氏は考えました。

原料の砂や貝に塩は近くの海岸で手に入れることができます。これを運び入れ、破壊されない土塁を作りあげたといえます。また古民家や寺の土台を貝混じりの赤土で固めてあるところを目にします。

神明社貝塚の破砕貝層は、締め固められた土台ではなかったか、今一度再調査といつても容易なことではありませぬ。貝塚調査の際には注視しておきたいところですよ。

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

話し始めた瞬間から、この人は何の人意識していると思わせるかのよう

2008年、陶芸家として本格的に活動し、この夏は2人展を開いた。そこで、彼の作る織部のピアカップを持つてみた。持つ指先に土の温かさを感じながら、自信のみならず彼の笑顔を感じて、彼が「何を言えない」とも叫んで

今月3日(金)から19日(日)まで「常滑・瀬戸・美濃の若手十人展」を予定している。自信のみならず彼の笑顔に出会い、こっけいでも不思議な作品に出会うことができるかもしれない。

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集書で発行所へ

吉田ひろし 竹内志江 谷川と志江 片岡光江 平賀たつ子 青山文代 荒川達雄 村上ユキ子 村井範子 渡辺民子 桑田加代子 森田撫子 馬場利明 富田悦子 中村悦子 藤村克己 河瀬四子 浦崎ひとみ 若田つとむ 中野まゆみ 幾世八千代 谷川利子 村井みさ子 やました悠 久田篤 磯村美耶子 曾我部和美 柴山洋子 中村洋子

千円(食代込み) 町民俳句大会(五日) 参加費五百円

「星塵」天文学「星占いが生まれた黄道十二星座の場所と特徴」を

